

4 学校との連携事業

美術作品鑑賞教室

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した鑑賞授業を実施することにより、美術館と学校及び地域との連携を図る方策を調査・研究及び提案することを目的とする。

平成22年度は、ネットワーク美術館展（p.40参照）との関連授業や、20-21年度に作成したアートカードの活用授業なども含め、小・中学校15校により実施。教師と学芸員等が協力して鑑賞授業や教材活用を行うことで作品の理解を深め、児童・生徒が豊かな感性を育む機会を提供した。（総括担当者：藤崎 綾）

実施形態

主に次の三形態により実施した。

- (1) 鑑賞授業A（所蔵作品を学校に搬入・展示して行う鑑賞授業）
- (2) 鑑賞授業B（アートカードの活用授業）
- (3) 鑑賞授業C（ネットワーク美術館展（p.40参照）の関連授業）

(1) 鑑賞授業A（所蔵作品を学校に搬入・展示して行う鑑賞授業）

①熊野町立熊野東中学校（3年生・154人）

実施日時／9月16日（木） 9：50～14：25（1学年ごとに各50分実施）

鑑賞作品／田中万吉《自画像》（油彩1点・素描3点）

授業目標／田中万吉の自画像作品のよさや表し方の工夫を味わおう。

授業内容／1. 油彩画作品を鑑賞し、第一印象をワークシートに書き込む。

2. グループで話し合う。色、筆遣い、作者の年齢、性格、いつ頃描かれたものか、などについて考える。

3. 作者について知る。

4. 素描作品を鑑賞し、作者が自画像で表現したかったことについて考え、ワークシートに書き込み、発表。

5. なぜ画家は自画像を描くのかについて考え、ワークシートに書き込む。



②東広島市立造賀小学校（3年生・12人）

実施日時／9月21日（火） 14：05～14：50

鑑賞作品／永田一脩《静物》・山路商《犬とかたつむり》・角浩《ジプシーとドンキホーテ》・丸木俊《にわとり》

授業目標／絵画の鑑賞を通して、作品のテーマやよさを理解し、いろいろな表現の仕方を知ることができる。

授業内容／1. 作品をよく見て、思ったことや気づいたことをワークシートに書き込む。

2. 1の内容を発表し、友だちや先生と意見を交流する。

3. 各作品の表現の違いや油絵の具の特徴などを知る。

4. 感想を発表し、交流する。



③大竹市立小方中学校（1年生58人・2年生69人）

実施日時／12月3日(金) 9:45～11:35（1学年ごとに別れ各50分実施）

鑑賞作品／檜山武夫《プラットホーム》・武永慎雄《鮭図》・山路商《犬とかたつむり》・岡部繁夫《卓上静物》

- 授業目標／
1. 広島出身の画家の作品を鑑賞し、地域の素晴らしさを認識することができる。
 2. 本物の作品を鑑賞し、作家の思いを感じることができる。
 3. 本物の作品を鑑賞し、作品の作り方や技法を知ることができる。
 4. 美術館職員（学芸員）という仕事について、理解することができる。



- 授業内容／
1. 全作品を鑑賞し、好きな作品を選び、その理由をワークシートに書き込む。
 2. グループに分かれて、意見を発表。友だちの感想を聞き、交流する。
 3. グループごとに意見を発表する。

④神石高原町立豊松小学校（全校生66人）

実施日時／平成23年1月21日(金) 11:30～12:15

鑑賞作品／芥川永《雲になった蛙》・林康夫《緑の滴》・宮永理吉《パイプ》・鈴木治《ロッキングバード》・熊倉順吉《笑いの稽古》

- 授業目標／
1. 作品のよさや楽しさを感じ取り、美術作品などを鑑賞する能力を高める。
 2. 自分が感じたことを話したり、友だちの感じ方を知ったりする活動を通して、作品の感じ方には人によって違いがあることを知り、作品に対する見方を広げる。



- 授業内容／
1. 低・中・高学年の3グループに分かれて、各自鑑賞する。
 2. 低学年：自分のお話の中に登場する作品を選び、自分が考えたお話の絵を描く。
自分が考えたお話や絵をワークシートに書き、発表・交流する。
中・高学年：作品から感じるイメージをワークシートに書き、イメージをもとに好きな作品の題名を考える。考えた題名とその理由を発表し、交流する。

(2) 鑑賞授業B（アートカードの活用授業 開催校の担当教諭による題材開発と実施）

※アートカード及び各授業内容等の詳細は、『広島県立美術館アートカード入門－鑑賞学習へのヒント－』（平成23年7月31日発行）及び、当館ホームページに掲載。

①尾道市立瀬戸田小学校（6年生・26人）

実施日／5月14日(金)

題材名／「アートカードから広がる世界」

授業目標／「喜び」をテーマとして、アートカードの作品及びアートカード3点をもとに製作された自分たちのオリジナル作品について、形や色、イメージなどを手がかりに、表現のよさや工夫に関心をもって話し合うことができる。

授業内容／1.（事前）各児童は、アートカードの中から、「喜び」が感じられる作品3点を選ん

で相互に鑑賞し合い、それらをもとに、「喜び」をテーマとするオリジナルの絵画を製作。

2. アートカード作品の「喜び」の表現から参考にした点や、自分なりに感じたテーマなどを発表。
3. 「喜び」を表現するアートカード及びアートカードをもとに製作した自分や友だちの作品の表現の工夫について交流する。

②広島大学附属三原小学校（4年生・37人）

実施日／7月7日(水)

題材名／「アートボックスかくれんぼ」

授業目標／1. アートゲームを通して、作品を身近なものに感じ、興味を持って作品を見ようとするができる。

2. 五感で感じられることをもとに想像を広げ、形・色・イメージ等を手がかりに、自分なりの見方・感じ方で鑑賞することができる。

授業内容／1. (準備物) 教師が、視覚、聴覚、嗅覚、触覚など五感の特質を表す箱（重い箱、香りのする箱、形に特徴のある箱、和紙でできた箱、振ると音のする箱等）を作り、この箱をアートボックスとして使用する。

2. アートボックスをグループごとに配布し、ボックスの特徴に合うアートカード作品を見つけ、その理由を伝え合う「アートボックスかくれんぼ」のゲームを通して鑑賞を行う。

③三原市立樫梨小学校（5年生9人・6年生8人・計17人）

実施日／9月3日(金)

題材名／「マイ・コレクションをつくろう」

授業目標／お気に入りのアートカードを集めてマイ・コレクションを作り、友だちとコレクションを鑑賞し合う中で、いろいろな見方・感じ方に気づき、自分自身の見方・感じ方を広げ深めていく。

授業内容／1. マイ・コレクションを作る。

2. グループごとに友だちのコレクションを鑑賞する。テーマや理由について交流。
3. グループの中から1名を選び、クラス全体の場で発表する。

④広島大学附属小学校（4年生・40人）

実施日／10月5日(火)・6日(水)

題材名／「五感でキャッチ！ -アートカードカルタ読み札づくり-」

授業目標／1. アートカードカルタ大会のための読み札作りを鑑賞の活動を通して行うことで、友だちの感じ方のよさに気づくとともに、自分なりの感じ方を広げたり深めたりすることができる。

2. 具象作品と抽象作品のそれぞれのよさを味わうことができる。

授業内容／1. アートカードを具象作品グループと抽象作品グループに分け、両グループの1作品ずつを、五感を働かせながら鑑賞する。

2. 上記の2作品を表す俳句を詠み、クラス全体で交流する。

3. 抽象・具象の各グループからアートカードを1枚ずつ選び、五感の活用を示した

ワークシートにイメージを言葉で表現し、言葉を手がかりに、俳句（カルタの読み札）を作る。

4.（事後）読み札を使い、アートカードカルタ大会を行う。

⑤東広島市立三永小学校（1年生・29人）

実施日／10月26日（火）

題材名／「せんとあそぼう」

授業目標／1. アートカードを使った活動に関心を持ち、楽しく見ようとする。

2. 線には、いろいろな表情があることに気づき、思ったことを話しながら、楽しく見ることができる。

授業内容／1. 教室の中にあるさまざまな線を見つける。

2. 線が特徴的な作品の拡大コピーを黒板に提示。電子黒板に作品の一部である線を映し出し、どの作品から抜け出したのかを見つけ、その理由を伝え合う。

3. ワークシートに好きな作品から見つけた線を描く。

⑥尾道市立土堂小学校（1年生・24人）

実施日／12月3日（金）

題材名／「こんなお話が聞こえてきたよ！」

授業目標／1. 作品とふれあい、作品の形や色、表し方の面白さなどに気づき、見ることを楽しもうとする。

2. 友だちと一緒に作品を見合い、感じたことや思ったことを話し合いながら、作品の面白さや楽しさを感じ取ることができる。

授業内容／1. 7点の作品から、気に入った作品を1点選び、選んだ作品から聞こえてくるお話をワークシートに書き込む。

2. ワークシートの言葉のみを発表し、どの作品から聞こえてくるお話なのかを話し合う。

⑦広島市立吉島東小学校（5年生・25人）

実施日／12月15日（水）

題材名／「場所に合った作品を選ぼう」

授業目標／1. 場所と作品の結びつきを考えながら、楽しく自分の感じたことを話したり、友だちの考えや思いを聞いたりする。

2. 場所と作品の結びつきを考えることにより、色や形などに着目しながら、自分なりの見方を広げ、深める。

授業内容／1.（準備物）教師が、図書室、音楽室、保健室、玄関、運動場、の場所を記したカード5枚を用意する。

2. 裏返した場所カードを1人1枚引き、その場所にあったアートカードを選ぶ。

3. アートカードと場所カードの組み合わせを、理由とともにワークシートに書き込む。

4. グループの中で発表し合う。

5. クラス全体で発表し、交流する。

(3) 鑑賞授業C（ネットワーク美術館展（p. 40参照）の活用授業）

団体学習鑑賞会（ネットワーク美術館展会場において実施。子どもガイドブックを活用しながら鑑賞）

10月4日（月） 竹原市立竹原小学校4年生 35人

10月14日（木） 竹原市立東野小学校5・6年生 計29人

10月29日（金） 竹原市立中通小学校6年生 29人

11月6日（土） 竹原市立大乘小学校3～6年生 計99人 （合計192人）